



## 2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社 丸山製作所  
 コード番号 6316 URL <http://www.maruyama.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 剛治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高取 亮

TEL 03-3252-2271

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	17,601	20.5	895		833		445	
2020年9月期第2四半期	14,602	4.8	75		106		110	

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 814百万円 ( %) 2020年9月期第2四半期 337百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	94.37	
2020年9月期第2四半期	23.14	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	34,129	16,638	48.8
2020年9月期	32,733	16,042	49.0

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 16,638百万円 2020年9月期 16,042百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期				35.00	35.00
2021年9月期					
2021年9月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	1.7	950	11.4	880	15.3	650	0.2	137.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期2Q	5,029,332 株	2020年9月期	5,029,332 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年9月期2Q	331,554 株	2020年9月期	296,821 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年9月期2Q	4,715,664 株	2020年9月期2Q	4,760,223 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。企業予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の影響により、個人消費は弱含みとなっており、企業収益も持ち直しの動きが期待されるものの、変異株の感染拡大傾向など不透明感の強く残る状況となっております。一方、政府による経営継続補助事業などの各種政策の効果の兆しもみられました。海外経済におきましても、中国では回復がみられますが、米国や欧州では感染症の影響により、経済活動が抑制されるなどの厳しい状況が続いております。

当社グループが主力とする農林業用機械業界におきましては、機械の出荷・生産実績が、国内・輸出向けとも前年同四半期より増加するなど、各種政策の効果がみられました。

このような状況において当社グループは、国内におきましては、引き続き大規模展示会が中止になる中、動画配信による製品の紹介などを実施してまいりました。また、政策効果による販売増に対応すべく販売・生産のリソースを適切に振り分けるとともに、新たな販路の開拓を目指し「人と環境に優しい」ウルトラファインバブル製品を専門に扱う組織を立ち上げました。海外におきましては、リモート営業にてウルトラファインバブル製品などを中心に拡販活動を展開してまいりました。

これらの結果、国内におきましては、アグリ流通において経営継続補助金政策の影響もあり大型機械やセット動噴の売上が増加し、ホームセンター流通においても前期から引き続き好調を維持した結果、国内売上高は14,010百万円（前年同四半期比26.5%増）となりました。また、海外におきましても、工業用ポンプは減少しましたが、北米向けの刈払機の増加などにより、海外売上高は3,591百万円（前年同四半期比1.9%増）となり、当第2四半期連結累計期間の売上高合計は17,601百万円（前年同四半期比20.5%増）となりました。

利益面では、売上総利益の増加などにより、営業利益は895百万円（前年同四半期は75百万円の損失）、経常利益は833百万円（前年同四半期は106百万円の損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は445百万円（前年同四半期は110百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 農林業用機械

国内におきましてはアグリ流通では大型機械やセット動噴が増加し、ホームセンター流通では刈払機を中心に増加いたしました。また、海外におきましても、刈払機が増加したことなどにより、国内外の農林業用機械の売上高合計は13,617百万円（前年同四半期比30.3%増）、営業利益は968百万円（前年同四半期は7百万円の損失）となりました。

#### ② 工業用機械

国内におきましては、洗浄機が増加いたしました。工業用ポンプや部品が減少いたしました。海外におきましても、工業用ポンプが減少した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は2,578百万円（前年同四半期比9.7%減）、営業利益は525百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

#### ③ その他の機械

消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は1,310百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益は63百万円（前年同四半期比24.7%減）となりました。

#### ④ 不動産賃貸他

不動産賃貸他の売上高は241百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は130百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は34,129百万円となり、前連結会計年度末より1,395百万円増加いたしました。これは、電子記録債権の減少（1,071百万円）はありましたが、受取手形及び売掛金の増加（1,392百万円）、商品及び製品の増加（839百万円）、投資有価証券の増加（479百万円）などによるものであります。

負債総額は17,490百万円となり、前連結会計年度末より798百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金の増加（827百万円）などによるものであります。

純資産総額は16,638百万円となり、前連結会計年度末より596百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどによる利益剰余金の増加（279百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（357百万円）などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、仕入債務の増加はありませんでしたが、たな卸資産の増加、有形固定資産の取得による支出などにより、当第2四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末と比べ436百万円減少し、3,687百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果、得られた資金は595百万円（前年同四半期比167百万円減）となりました。これは、前年同四半期に比べ税金等調整前四半期純利益の増加、たな卸資産の増加額の減少、仕入債務の増加はありましたが、売上債権の増加、法人税等の支払額の増加などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果、使用した資金は543百万円（前年同四半期比221百万円増）となりました。これは、前年同四半期に比べ有形固定資産の取得による支出の増加などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果、使用した資金は498百万円（前年同四半期比225百万円減）となりました。これは、前年同四半期に比べ短期借入金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、政府による経営継続補助事業など各種政策効果の反動減の可能性も含め、今後の事業環境を見極める必要があるため、前回予想（2020年11月12日）を修正いたしません。合理的な算出が可能になり、見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,544	4,106
受取手形及び売掛金	5,278	6,670
電子記録債権	2,698	1,627
商品及び製品	5,386	6,226
仕掛品	259	302
原材料及び貯蔵品	1,942	2,252
その他	808	840
貸倒引当金	△10	△14
流動資産合計	20,906	22,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,118	3,464
土地	2,619	2,608
その他(純額)	1,922	1,631
有形固定資産合計	7,660	7,704
無形固定資産	214	159
投資その他の資産		
投資有価証券	3,141	3,621
その他	831	654
貸倒引当金	△21	△22
投資その他の資産合計	3,952	4,252
固定資産合計	11,827	12,117
資産合計	32,733	34,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,268	3,095
電子記録債務	6,118	6,473
短期借入金	580	470
未払法人税等	254	392
賞与引当金	449	441
製品保証引当金	85	104
その他	1,153	948
流動負債合計	10,910	11,925
固定負債		
長期借入金	3,294	3,150
退職給付に係る負債	2,165	2,196
その他	321	218
固定負債合計	5,781	5,564
負債合計	16,691	17,490
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,512	4,514
利益剰余金	6,333	6,612
自己株式	△463	△517
株主資本合計	15,033	15,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,044	1,402
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	34	30
退職給付に係る調整累計額	△70	△53
その他の包括利益累計額合計	1,008	1,378
純資産合計	16,042	16,638
負債純資産合計	32,733	34,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	14,602	17,601
売上原価	10,980	12,738
売上総利益	3,621	4,863
販売費及び一般管理費	3,696	3,967
営業利益又は営業損失(△)	△75	895
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	30	31
為替差益	—	15
その他	15	30
営業外収益合計	49	78
営業外費用		
支払利息	31	26
為替差損	17	—
金融関係手数料	17	62
その他	14	51
営業外費用合計	80	140
経常利益又は経常損失(△)	△106	833
特別利益		
固定資産売却益	0	25
その他	—	0
特別利益合計	0	25
特別損失		
固定資産処分損	6	2
投資有価証券評価損	—	36
その他	—	0
特別損失合計	6	38
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△112	821
法人税等	△2	376
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△110	445
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△110	445

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△110	445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△202	357
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	△34	△4
退職給付に係る調整額	12	17
その他の包括利益合計	△227	369
四半期包括利益	△337	814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△337	814

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△112	821
減価償却費	506	461
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△72	△7
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	19
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	88	55
受取利息及び受取配当金	△34	△32
支払利息	31	26
投資有価証券評価損益(△は益)	—	36
売上債権の増減額(△は増加)	1,911	△212
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,073	△1,189
仕入債務の増減額(△は減少)	634	1,094
その他	△89	△273
小計	804	803
利息及び配当金の受取額	34	32
利息の支払額	△30	△26
法人税等の支払額	△44	△213
営業活動によるキャッシュ・フロー	762	595
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△33	△51
定期預金の払戻による収入	33	51
有形固定資産の取得による支出	△325	△557
有形固定資産の売却による収入	0	40
無形固定資産の取得による支出	△14	△18
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	0
貸付けによる支出	△13	—
その他	31	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△322	△543
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△212	△80
長期借入金の返済による支出	△313	△183
リース債務の返済による支出	△9	△6
自己株式の取得による支出	△21	△62
配当金の支払額	△166	△165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△724	△498
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△282	△436
現金及び現金同等物の期首残高	2,107	4,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,824	3,687

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症については、2021年4月23日に緊急事態宣言が発令されたものの、当社グループの事業に与える影響は軽微であるとの予想のもと、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更は行っておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,455	2,855	1,195	96	14,602	—	14,602
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	146	146	△146	—
計	10,455	2,855	1,195	243	14,749	△146	14,602
セグメント利益又は損失(△)	△7	507	84	136	720	△796	△75

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等でありま  
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,617	2,578	1,310	95	17,601	—	17,601
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	146	146	△146	—
計	13,617	2,578	1,310	241	17,747	△146	17,601
セグメント利益	968	525	63	130	1,688	△792	895

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、  
主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。